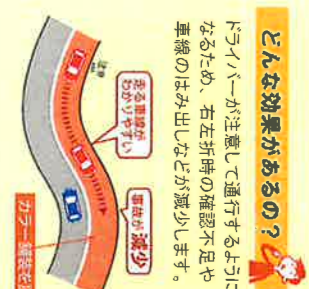
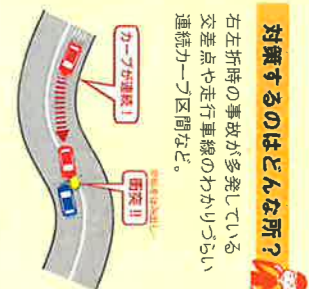


速度を抑制する

ドットライン

車線の内側に太い点線（ドットライン）を設置して車線を狭く見せることにより、ドライバーが車の速度を無意識に下げないようにする対策です。



注意を喚起する

カラー舗装

事故が多発する箇所の路面に色を付けることで、ドライバーに対して注意を促し、危険を認識させる対策です。

段差舗装

路面上に薄い層（凸型）を付け、車両へ音や振動を与える事で、ドライバーが車の速度を下げるようにする対策です。



減速マーク

路面上にくの字型のラインを連続して設置し、視覚的に注意を促すとともに車両へ少しの振動を与える事で、ドライバーが車の速度を下げるようにする対策です。



道路を改良する

右左折専用レーン

右左折専用レーンのない交差点において、右左折車と直進車の車線を分けることにより、事故の削減を図る対策です。



中央分離ゼブラ帯

車道の中央にゼブラ帯を設置することで、沿道の商業施設や細街路等へ入る右折車の待ちスペースを確保し、後続の車両が追突しないようにする対策です。



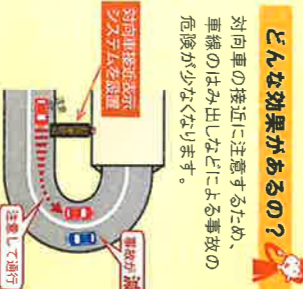
右折分離ゼブラ帯

直進車線と右折車線の間にはゼブラ帯を設置し、右折する時に対向直進車を見やすくすることで、無理な右折による事故の削減を図る対策です。



対向車接近表示システム

対向車の接近を自動的にセンサーで感知して、電光表示板により知らせ、注意を喚起する対策です。



ラングルストリップス

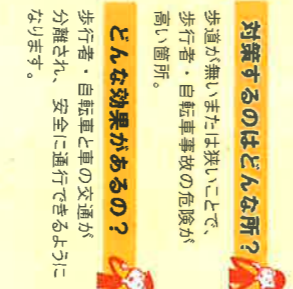
センターラインや外側の車線の路面カーブ状の凹型を連続して配置することにより、その上を通過する車両に対し不快な振動や音を生じさせ、車線を逸脱したことを認識させる対策です。



歩行者・自転車事故を防止する

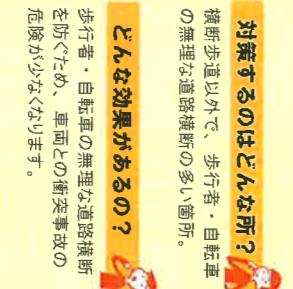
自転車・歩行者道整備

歩道が無いまたは狭いことにより歩行者・自転車の事故が発生する恐れのある区間について、自転車・歩行者道の新設または拡幅を行い、歩行者・自転車の安全を守ります。



横断防止柵

横断歩道以外で、道路を横断する歩行者・自転車が多くの区間に、歩道と車道の境界に横断防止柵を設置することにより、事故の防止を図る対策です。



横断歩道・交差点カラー化

横断歩道や交差点に色を付けることで、ドライバーに交差点通過時の注意を促し、歩行者・自転車の存在や事故の危険を認識させる対策です。

